

Art Truck Project News

✳ アートトラック・プロジェクトニュース September 2013

VOL.4

アートトラックの絵を選びました



8月7日(水)、空港前本社に於きましてアートトラックプロジェクトの核となる絵の選定作業を行いました。今回の選考作業の前に実行メンバーで絵の確認を行い、合計 349 点の中から 1 人 20 点、計 60 点の絵をまずは選びました。どの絵も魅力的で引き込まれる絵ばかりで、実行メンバーも悩みながら何とか絞り込みました。そして、だんだんボックス実行委員会のみなさんとさらに絞り込みを行い 36 点選出しました。

メンバーの選出理由も、POPで明るい感じの絵、かわいい絵、楽しい絵、トラックの重いイメージを変える絵、子供たちの興味を惹きそうな絵と様々です。

8月16日(金) 富永社長への最終プレゼンを行い、またもや悩みながら選考し、トラックに描かれる予定の絵 11 点がついに揃いました。これからトラックに合わせた絵の構図が決まります。

いよいよカタチがちょっとずつ見えてきました。お披露目に向けて皆さんに喜んで頂けるように、メンバー一同、誠心誠意臨む所存です。(室屋)



うわ~ こんなに集まりました!(8/3)



悩みながら絞り込みました!(8/7)



社長プレゼンを経て、さらに絞り込みました!(8/16)

役員の声



福岡運輸株式会社
取締役 長崎正弘

ご自宅にて
マンゴー栽培!

CSR活動としてのアートトラックプロジェクトが発足して4か月。白石さん、室屋さん、宮本さん、メンバーの皆さんが、初のアートトラック製作に向けて、事務局との交渉、作品の選定、そして車両製作のスケジュール調整等多忙の中、一生懸命、真摯に取り組まれている姿を拝見し、非常に頼もしく、また有難く感じております。是非、すべての人に感動、喜び、驚きを与えていただければと思います。

10月にはアートトラック1号車が完成予定と聞いております。きっと、注目を集めるでしょう。私ども、今以上に社会的役割を意識した行動が必要になってくるのではないかと思います。

メセナ、フィランソロフィーとは意味合いが違う本活動、一過性で終わらず永続的なものとして定着させたいものです。

社員の声



福岡運輸株式会社 東京支店
業務主任 三原秀喜

・アートトラックの取り組みについての感想

恥ずかしながら、このアートトラックニュースを読むまでは、「CSR活動」という言葉の意味さえ知りませんでした。明確なガイドラインはないようで「企業が利益を追求するだけでなく、社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動」ということのようなのですが、「アートトラックプロジェクト」は福岡運輸として、正にピッタリな「CSR活動」と言えるのではないのでしょうか。白いボックスに「赤いバツテンマーク・福岡運輸定温輸送」と書かれた見慣れたボックスが、どのように表現され、描かれるのか、とても興味があり、楽しみです。3名のプロジェクトメンバー（宮本君・・・いつも私の無理難題を快く引き受けてくれてありがとうございます。白石さん・・・月末月初めの請求書発行時は大変お世話になっています。室屋君・・・すみません。今まで接点がありません。汗）の方々、通常の業務を行いながらのプロジェクト活動は何かと大変だと思います。また、残暑も厳しいようですので体調管理には充分気を付けて若いパワーを結集して、このプロジェクトを成し遂げて下さい。がんばれ！

・趣味について

これといった趣味はありませんが、読書は好きです。今は「仕事力・白版」という本を読んでいます。また、9月の連休に日本最高峰の富士山に登ります！

・アートトラックの取り組みについての感想

障がい者の方々作品と福岡運輸とのコラボレーションは、とても素晴らしい事だと思います。実際に見た人は、最初は『何だ!あれ?』と思いますが、徐々に興味を持ってくれる人が増えると信じています。また、障がい者の方々仕事を得て、生きがいを持てるような社会が、世界中に広がる事を願います。今回妻、親にもアートトラックについて話しましたが、素晴らしい事だと感心していました。今後も、少しでも多くの人にアートトラックを知って貰う様に、微力ですが協力・応援したいと思います。

・趣味について

趣味という程ではないですが、子供との遊ぶ時間を大切にしています。最近子供と遊ぶ機会が少ないですが、時々、夜起きている時に帰宅するとニコリと出迎えてくれるとすごく嬉しく感じます。あと『少年ジャンプ』が発売される土曜日が楽しみです。ワンピース、トリコ、黒子のバスケ、両津しか見ないですが・・・。あっ!バズトラやっています。



福岡運輸株式会社 船橋営業所
業務係 鮫島 薫

・アートトラックの取り組みについての感想

普段生活していて、なかなか障がい者の方々とは接する機会というのは無く、だんだんボックスのような取組があることも、今回のアートトラック・プロジェクトで初めて知りました。恐らく、私と同じ様に今回のプロジェクトで初めて知った方が多くいらっしゃると思います。社内からアートトラックを通じて荷主様や協力会社様、そして一般の方々まで知れ渡り、それが、支援に繋がれば、こんなに素晴らしい事はないと思います。完成まであとわずかとのこと。楽しみにしております。

・趣味について

趣味は、プロレス観戦が大好きで、今年5月11日に日本武道館で行われた小橋健太選手の引退試合は感動して、大「コバシ」コールを送って涙流しました。その他は、最近行けていませんが、列車に乗っての旅が大好きです。時間を作り計画したいと思っています。



福岡運輸株式会社 仙台営業所
業務係 山城光博

編集局だより



福岡運輸 ホールディングス
経理部 管理課 白石佳織

育ちざかりのやんちゃなハルです！

この文を書いているのは8月末日、社内報が皆様のお手元に届いている頃には気候も秋らしくなっているのでしょうか・・・。

さて、アートトラック・プロジェクトの方とはいうと、室屋職員の記事にもありましたようにデザインの選定を行いました。モノの捉え方が違うのか自由な観点から絵を描いて、こんな風に描くのか! こんな色を使うのか!! と新たな発見をした感じで選んでいる私の方が楽しい気持ちになりました。トラックのイメージを変えるような絵を3人で選びました。「珍しいトラックが走ってるね」「こんな活動があるんだね」とちょっとでも話題になればこの活動をしている意味があるのかなと思います。

10月1日完成を目標に動いておりましたが、いろいろと大人の事情がありまして完成が延びています(汗)

しかし!! 心折れることなくプロジェクトチーム、完成まで頑張ります \(\sigma)/